

認知症に関するさまざまな情報をお届けします。

◇◇認知症の方が意思を伝えるマーク・カードをご存じですか◇◇

わたし達の暮らす街には、生活する中で様々な援助や配慮を必要としている方がいます。中には外見からはわかりにくい障害・疾患がある方もみえ、その方々は周りの人の理解を得ることで、ご自身のやりたいことが実現しやすくなり、より充実した生活を送ることができます。

今回は意思表示を伝える為の工夫に役立つさまざまなマークなどをご紹介します。

ヘルプマーク

内部障害や難病の方を始め、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成したマークです。

(見かけたら)

電車内で席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。



ヘルプカード

外見から分かりにくい障害・疾患がある方や、コミュニケーションをとることが困難な障害のある方等が、周囲にご自身の障害・疾患への理解や必要な支援を求めることができるよう、障害特性や希望する支援内容を記入し、携帯するものです。

(見かけたら)

カードをお持ちで困っているところを見かけたら、「お手伝いしましょうか？」と声をかけたくて、ヘルプカードに書いてある内容について支援や配慮をお願いします。

(ヘルプマーク・ヘルプカードはどこでもらえる?)

区役所福祉課・支所区民福祉課、保健センター保健予防課、障害者基幹相談支援センター など



希望をかなえるヘルプカード

(表面)

自分が望んでいること(やりたいことや続けたいことなど)を、安心してスムーズにできるために、ご本人が認知症に伴う不安や不自由を具体的に伝えるカードです。

必要な内容を具体的に書ける余白があり、周りの人に自分が望むことやちょっとわかってほしいこと、お願いしたいことを書いておき必要な時にだけ見せて使います。ヘルプマークと併用して活用する人もいます。



(カードの提示があったら)

- ① 青い部分は、ご本人がわかってほしいこと、お願いしたいことです。
- ② 白い部分は、カードを持っているご自身がやりたいことです。

(こんな場所で) ⇒ ご本人の希望をかなえるお手伝いをお願いします。

スーパー、コンビニ/役所/飲食店/病院、福祉、介護施設/金融機関、郵便局/スポーツ施設 等

(希望をかなえるヘルプカードはどこでもらえる?)

カードの原稿データをダウンロードして使用することができます。

問合せ先



認知症介護研究・研修東京センター
r.tokyo@dcnet.gr.jp 03-3334-1150



ダウンロード
を詳しくは
こちら

DCネット 希望をかなえるヘルプカード 検索

QRコードでも、ご覧いただけます。

(裏面) カードの例文です

- ① この操作を教えてください
- ② セルフレジで
支払いたいです

認知症コラム No.20 「高齢者の脳で衰えるのは認知機能だけではない」

八事病院 認知症疾患医療センター長 吉田伸一



八事病院は昨年4月に名古屋市から指定を受け認知症疾患医療センターの仲間入りをしました。認知症の方やそのご家族などへの対応は今までもそれなりに実績があるつもりでしたが他のセンターの活動を拝見させていただいてさらに精進したいと思っています。よろしくお願いします。

さて私は今年高齢者の仲間入りをします。すでに10年位前から自身の老化は感じてきました。緑内障に白内障、血糖値が年々高くなる。夜中に何度も目が覚める、人の名前が思い出せない。そこで感じるのはヒトの身体のパーツは50年を過ぎるともう保証期限が切れるのだなということです。個々のパーツはこれからはiPS細胞などの技術により新たに修復が可能になっていくのかもしれませんがそれでも体を構成する膨大なパーツのすべてについて修復をするのはまだ当分難しいでしょう。自分がこの先それなりに活動できる期間、そしてこの世にいる期間を意識するようになりました。若い頃はこれがとても怖かったのですがこの年齢になってみるともうそれほど怖くはなく、むしろここまで生きながらえてこれたことを有り難く思えるようになってきています。

脳もそのような寿命の限られたパーツである以上、その衰えは覚悟せざるをえません。脳の機能低下というと記憶とか言語といった認知機能の低下ばかりが目立っていますが、脳の機能はそれ以外にも「知・情・意」の「情・意」、すなわち感情や意志・意欲・活動性・意識のコントロールがあり、さらに自律神経を介した内臓機能・身体機能の調整にまで及んでいます。加齢による脳機能の低下ではこれらの機能も低下するのですがまだ世間的には認知機能の低下による二次性のもののように思われているようです。高齢者の「わけもなくイライラする。」「怒りっぽくなった。」「気持ちが塞いで何もする気がしない。」といった訴えを「歳だから」とスルーしてしまわないことが大事なのではないでしょうか。

🍀 ～認知症関係の行事予定～ 詳細、申込方法は問合せ先までお問い合わせください。🍀

◆11月1日(火) 13時30分～15時30分

中村区「中村区認知症講演会」

第一部 講演会「認知症と上手にお付き合い～認知症かな？と思ったら～」

講師：医療法人偕行会 偕行会城西病院 院長 錫村明生先生

第二部 活動紹介（中村区の認知症支援の紹介、めいらく寸劇グループによる寸劇）

定員：150名 どなたでも参加できます。参加費無料。

場所：中村文化小劇場（中村区中村町字茶ノ木25番地）※申込不要

問合せ先 中村保健センター ☎ 052-481-2218 中村北部いきいき支援センター ☎ 052-486-2133

中村南部いきいき支援センター ☎ 052-483-6866

認知症に関する情報や相談窓口はこちら

☎ 電話から

認知症コールセンター 認知症の症状や介護等に関する様々な相談

◆名古屋市認知症コールセンター ☎ 052-734-7089

認知症疾患医療センター 専門医療、鑑別診断と治療、急性期対応等に関する相談

◆名鉄病院 ☎ 052-551-2802 ◆まっかげシニアホスピタル ☎ 052-352-4165

◆もりやま総合心療病院 ☎ 052-795-3560 ◆八事病院 ☎ 052-832-2181

💻 パソコン・スマートフォンから

キーワード検索

なごや認知症あんしんナビ

検索



名古屋市認知症相談支援センター
YouTube チャンネル



認知症の人本人と
家族の語りをご覧ください



◆名古屋市の認知症情報◆

→名古屋市区ウェブサイト トップページ

→暮らしの情報→高齢者

→認知症施策

→認知症の方や家族を

支援する取り組み

